# 望ましい集団活動の活性化と自主的・実践的な態度を育てる特別活動の在り方

日立市立塙山小学校

## 1　はじめに

塙山小学校では､｢はなやまコール｣とよばれている生活の基本目標があり､子供たちは､この目標を意識しながら毎日生活している。コロナ禍の影響で人との関わりが希薄になりつつあることを受け、今年度は、周囲の人への思いやりを大切にしたいと考え、新たに縦割り班活動に取り組んだ。

これまで、子供たちには「先生に言われたからやる。」「高学年だからやっている。」といった、義務感・やらされ感をもって活動している様子が見られた。そこで､「やった・できた」という達成感や満足感を得られるような仕掛けを子供たちにしていこうと考えた。

## 2　資料（実践事例、写真等）

### （1）　代表委員会・・・中休みや昼休みの時間を利用　【４月】

ア　４年生以上の学級代表２名と各委員長で、運動会スローガンの決定。(児童会だよりによる発信)

(ア)計画委員会がスローガン決定までの方法や日程を決め、募集用紙を準備。
(イ)委員長会議のメンバーが、低学年への説明や集約を担当。
(ウ)各学級から１点ずつ持ち寄り、代表委員会で話し合う。

### （2）　はなやまコールを意識した実践

**㋫　はっきりあいさつ返事**

○ 計画委員会で呼びかけてボランティアを募り、朝のあいさつ運動を実施。
【５月…高学年、10 月…中学年、11 月…低学年】

**㋣　なかよく外遊び**

○ 縦割り班での遊び【４・５・６・10 月】
○１学期は６年生が、２学期は５年生が遊びの計画を立て、ロングの昼休みに鬼ごっこやドッジボールなどで遊んだ。

朝のあいさつ運動

**㋬　やる気で勉強・やり抜く清掃　【10 月・11 月】**

○ 環境美化委員会がボランティアを募って落ち葉清掃。

**㋭　まわりの人への思いやり**

○ 福祉委員会による能登半島地震災害への募金活動。
○ 計画委員会による「仲良くしよう集会」。

一年生を迎える会

### （3）　縦割り班活動…学校行事とタイアップして計画と実施

ア　一年生をむかえる会
○第一部は計画委員で計画を立て、全体で行った。
第二部は縦割り班遊びを行い、一年生との交流を図った。

イ　縦割り班遊び

ウ　奉仕活動【11 月】
○校庭の落ち葉掃き、草取りをロングの昼休みに実施した。

## 3　成果（○）と課題（●）

○ 「自分たちでやりきれた」という意識の変化が見られるようになった。
○ あいさつの声が明るく元気になってきた。
○ 各委員会でも、今までの常時活動からボランティアの呼びかけや募金など、活動の範囲が広がった。
○ 通常の休み時間にも、様々な学年が混ざって縄跳びなどで遊ぶ姿が見られるようになった。
● 縦割り班活動のさらなる充実。
● 新しい取組を全校児童に周知していく手段として、児童会だよりなど発信方法の工夫。

縦割り班での遊び